

製品安全データシート

発行日 データなし

改訂日 26-6-2018

バージョン 11

1. 化学物質等および会社情報

1.1 製品識別名

製品番号 AB109202

製品名 DRAQ7™

1.2 化学物質または混合物に関連する特定用途および勧告用途

推奨用途 利用可能な情報はない

使用の勧告 利用可能な情報はない

1.3 安全データシート作成者の詳細

供給者の詳細
アブカム株式会社
〒103-0012
東京都中央区
日本橋堀留町2-2-1
住友不動産人形町ビル2F

更に情報が必要な場合の連絡先: technical@abcam.co.jp

1.4 緊急通報専用電話番号

緊急電話 - +81-(0)3-6231-0940

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

GHS / CLP 規則 (EC) No. 1272/2008

皮膚腐食性/刺激性	カテゴリー2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	カテゴリー2
標的臓器 / 全身毒性 - 単回暴露	カテゴリー3

2.2 ラベル要素



注意喚起語
警告

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激
 H319 - 強い眼の刺激
 H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

使用上の注意 - EU (§ 28, 1272/2008)

P271 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
 P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
 P280 - 保護手袋、保護眼鏡および保護マスクを着用すること
 P264 - 取り扱い後は顔、手、暴露した皮膚など、すべてよく洗うこと
 P362 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯をすること
 P304 + P340 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 P312 - 気分が悪いときは医師に連絡すること
 P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗い、もしコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P403 + P233 - 換気の良い場所で容器を密閉して保管すること
 P405 - 施錠して保管すること
 P501 - 内容物/ 容器は許認可を受けた廃棄物処理設備で処分すること

2.3 その他の情報

警告 - 物質はまだ完全に試験されていない

3. 組成、成分情報**3.1 化学物質**

化学名	EC番号	CAS番号	重量パーセント	分類 (Reg. 1272/2008)	欧州化学物質登録評価許可規則 (REACH) 登録番号
DRAQ7	-	-	100	STOT SE 3 (H335) Skin Irrit. 2 (H315) Eye Irrit. 2 (H319)	データなし

この項目に記載されているH-ステートメントの全文は項目16を参照

4. 応急措置**4.1 応急措置の記載**

一般的アドバイス	緊急な医療処置が必要。症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
眼に入った場合	直ちに最低15分間はまぶたの内側も含め多量の水でゆすぐ。大量の水で直ちに洗浄をして最初の洗浄後コンタクトレンズを外し少なくとも15分間継続して洗浄する。症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。直ちに多量の水で洗い流す。汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
飲み込んだ場合	意識がない場合口から絶対に何も与えないこと。口をすすぐこと。症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
吸入	気体を誤って吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移す。新鮮な空気のある場所に移動する。症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
応急措置をする者の保護	保護具を使用する。

4.2 急性および後発性の最も重要な症状および作用

主要な徴候 2.2を参照。

4.3 緊急治療および特別処置が必要な兆候

医師に対する特別な注意事項 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を使う。

使ってはならない消火剤
利用可能な情報はない。

5.2 物質または混合物特有の危険有害性

特別危険性
特になし。

5.3 消火を行う者への助言

消火を行う者の保護
あらゆる火災の場合には独立式呼吸装置および完全な保護装置を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

保護具を使用する。皮膚と眼との接触を避ける。安全な場所に避難する。流出が起きている場所から風上に避難させる。
追加の情報については項目12を参照すること。

6.2 環境に対する予防措置

安全を確認してから流出を止める。

6.3 格納と洗浄の方法と材料

不活性の吸収材（砂、シリカゲル、酸性接着剤、汎用接着剤、おがくず）で吸収させる。

7. 取扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

保護具を着用する。十分な換気を確保する。適切な排気装置が設置された場所でのみ使用する。気体や噴霧を吸い込まない。

7.2 禁忌等、安全な保管条件

小児の手の届かないところに保管する。容器をしっかりと閉めて保管する。容器の栓をしっかりと閉め低温で換気の良い場所に保管する。正確なラベルのついた容器に保管する。

7.3 特定の最終用途

特定の利用法
暴露した経緯 利用可能な情報はない。
利用可能な情報はない。

8. 暴露防止および保護措置

8.1 コントロールパラメーター

暴露限界	定められた職業暴露限度
生成に影響がないレベル	利用可能な情報はない
予測無影響濃度	利用可能な情報はない

8.2 暴露防止

設備対策	特に閉所では十分な換気の確保が必要。
個人用保護装備	
目の保護具	密着性の高い安全ゴーグル。EN143またはEN141/NIOHS/MSHAの認定を受けている適切なフィルターを使用した呼吸用保護具を着用しなければならない。
手の保護具	保護手袋。製造元により提供されている手袋の浸透性および破過時間に関する注意書きをチェックすること；また破損や摩耗の危険性など、製品が使用される環境下で特に予想される状況も考慮にいれること。
皮膚及び身体の保護具	長袖の衣服、エプロン、不浸透性手袋。
呼吸器の保護	特別の保護具は必要ない。
高熱の危険性	利用可能な情報はない
衛生対策	使用中は飲食や喫煙をしない。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。用具、作業場所および衣服を定期的に清掃すること。
環境における露出管理	地下水を汚染してはならない。

9. 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

摂氏20度における物質の状態 臭い	液体 利用可能な情報はない	外観	利用可能な情報はない
----------------------	------------------	----	------------

性質	値	注意
pH	利用可能な情報はない	
融点/凝固点	利用可能な情報はない	
沸点/沸点範囲	利用可能な情報はない	
引火点	利用可能な情報はない	
蒸発速度	利用可能な情報はない	
燃焼性 (固体、ガス)	利用可能な情報はない	
空気中での可燃性限界		
可燃性上限		
下限可燃限界点		
気体気圧	利用可能な情報はない	
気体密度	利用可能な情報はない	
相対密度	利用可能な情報はない	
水溶性	利用可能な情報はない	
他の溶媒に対する溶解性	利用可能な情報はない	
分配係数：n-オクタノール/水	利用可能な情報はない	
自然発火温度	利用可能な情報はない	
熱分解温度	利用可能な情報はない	
動粘度	利用可能な情報はない	
爆発性	利用可能な情報はない	

9.2 その他の情報

VOC内容物(%)	利用可能な情報はない
-----------	------------

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

利用可能な情報はない。

10.2 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3 危険有害反応性の可能性

通常の使用条件では特に無し。

10.4 避けるべき条件

熱、炎、火花

10.5 不適合物質

特になし

10.6 危険分解生成物

通常の使用条件では特に無し。

11. 有害性情報

11.1 有害影響に関する情報

急性毒性 製品情報

吸入したり皮膚に接触したり飲み込むと有毒である 皮膚、眼または気道を刺激

吸入

呼吸器官、気道に炎症を起こすおそれ有り。

眼に入った場合

炎症を起こすおそれ有り。

皮膚に付着した場合

炎症を起こすおそれ有り。

飲み込んだ場合

摂取すると粘膜に刺激を引き起こす可能性があり。

慢性毒性

腐食性

利用可能な情報はない。

感作

利用可能な情報はない。

神経障害

利用可能な情報はない。

生殖毒性

利用可能な情報はない。

変異原性影響

利用可能な情報はない。

目標臓器効果

利用可能な情報はない。

12. 環境影響情報

12.1 毒性

生態毒性影響

本製剤は環境への重大な悪影響を及ぼしません。

12.2 残留性と分解性

利用可能な情報はない。

12.3 生物蓄積性

利用可能な情報はない。

12.4 土壌中の移動度

利用可能な情報はない。

12.5 PBTおよびvPvBの評価結果

利用可能な情報はない。

12.6 他の有害影響

利用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

残留物または未使用製品からの廃棄物 地域の規定に従い処分する。

汚染した包装

空の容器はリサイクルまたは廃棄のために承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

その他の情報

欧州廃棄物カタログによると廃棄物コードは製品ごとに決められているのではなくその応用法に基づいて決められている。廃棄物コードは製品が使われた利用法に基づいて使用者が決めるべきである。

14. 輸送上の注意

ADR 非危険物

IATA 非危険物

DOT 非危険物

15. 適用法令

15.1 化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規則/法令

15.2 化学物質安全性アセスメント(CSA)

利用可能な情報はない。

16. その他の情報

セクション2および3に示されたHステートメントの全文
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
H315 - 皮膚刺激
H319 - 強い眼刺激

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激

H319 - 強い眼の刺激

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

改訂日 26-6-2018

改訂メモ 該当なし.

この安全性データシートは指令 (EU) No. 1907/2006の条件に準ずる

免責条項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報にもとづき当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を安全に行うために作成されたものであり記載されている情報はいかなる保証もするものではなく、品質を特定するものでもない。またこの安全データシートはここで指定された物質についてのみのものであり指定されていない工程での使用や指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではない。

SDSの終わり